

守ろう、育てよう、地域の子ども！ 支えよう、地域の学校！

活動主体名 大月町放課後子ども教室実行委員会

自治体名 高知県大月町

関係する学校 大月町立大月小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	家庭教育支援	その他
—	○	—	—

基本データ

(平成 23 年度実績)

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子ども教室	コーディネーター数	ボランティアのべ人数	開始年度	補助の有無
	1	960	21年度	あり
	実施場所	子どもの平均参加人数	年間開催日数	児童クラブとの連携
	多目的室・体育館等	57	185日	なし
家庭教育支援	教育活動支援員等の数	活動拠点	年間活動日数	補助の有無

活動の概要

「大月の子どもは大月で守り育てる」という志のもと、町内各地区から28名の方々が参画し、子どもたちの学習や体験・交流活動等を支援するとともに、多様なイベントの開催を通じて保護者と地域の方々がふれあう機会も設けています。子どもへの支援活動は学校や家庭へのサポートはもちろん、地域の方々の生きがいの場にもなっています。

【平日の活動内容】

学習活動・・・学校の方針に従い、宿題等の学習支援、硬筆教室、読み聞かせなど、子どもたちの学習習慣の定着に向けた取組を実施しています。



その他の活動・・・自由遊びのほか、卓球・バドミントン教室、コマやおはじきなどの昔遊びなどを実施し、地域の方々とふれあいの機会を多くつくっています。



【休日、長期休業期間中の主な活動内容】

親子自然体験教室、植物の標本づくり教室、クリスマス・お正月用リースづくり教室ほか

※休日等には、普段子ども教室に関わることの少ない保護者等にも積極的に参加してもらい、保護者と地域の方々との交流の場にもなっています。

【学校支援活動】

スクールバスに不慣れな新1年生の安全確保を目的に、毎年4月は事業に参画している地域の方々がバスに乗り、新入生や保護者の不安軽減にもつながっています。このような地域の方々による放課後等を中心とした子どもや学校への支援活動が定着しており、平成24年度は全校児童の8割が登録するなど、地域と学校が連携した教育支援活動が進んでいます。

取組の変遷

準備・立ち上げ期

◇課題

- ・平成21年度に町内9校が統合して開校した大月小学校では、多くの児童がスクールバスで通学することになり、バスが出発するまでの放課後の子どもの安全を確保することが重要な課題のひとつであった。
- ・開設する教室の活動内容の構築

◇解決に向けた取組等

- ・放課後子ども教室の導入を町が決定。
- ・教育長がコーディネーター役を依頼した地域の方(元校長、公民館長も歴任)が、閉校した9校各地区から地域で信頼のある方々に声を掛け組織化し、支援体制を構築。
- ・事前にアンケート調査を実施し、保護者や児童の教室に対するニーズを把握し活動内容を検討

基盤形成期

◇課題

- ・参画している地域の方々の意思統一
- ・活動内容の充実
- ・放課後子ども教室の信頼性(ケガ等をした子どもの保護者への対応)

◇解決に向けた取組等

- ・町教委、コーディネーター及びスタッフ、学校管理職を中心とした実行委員会会議を月1回開催。運営方針や子どもの問題を共有。学校教育活動にも反映。
- ・コーディネーター自ら、該当児童の家庭に出向き説明。信頼関係を維持・構築。

定着期

◇課題

- ・学習支援の質の向上
- ・学校教育活動への支援
- ・保護者や学校との連携、活動への理解

◇解決に向けた取組等

- ・学習に躓いている子どもの情報を学校と共有しながら学習活動を支援。これらの取組により、学習が遅れ気味の子どもたちへの学習支援が有効に働いている。
- ・学校の総合的な学習の時間が校外で行われる場合、放課後のスタッフが支援している。
- ・教室の様子や活動内容をより理解してもらうため、定期的に放課後だよりを作成し配布。